

令和7年度 彩の国あんしんセーフティネット事業

ブロック会議

実施日 ／ 参加者	第1ブロック	7月18日(金)	14名
	第2ブロック	7月30日(水)	27名
	第3ブロック	8月29日(金)	26名
	第4ブロック	8月8日(金)	33名
対 象	会員施設長・相談員、市町村社協担当職員、自立相談支援機関相談員		
事例報告	○第1ブロック社会貢献支援員 熊木氏 「4月から子どもが高校と大学に入学となる ひとり親世帯からの相談」 ○第2ブロック社会貢献支援員 久保氏 「精神疾患を抱える相談者の支援」 ○第3ブロック社会貢献支援員 小川氏 「拠点として苦慮した事例/生保受給者支援について」 ○第4ブロック社会貢献支援員 江原氏 「8050 世帯の支援について」		



グループワークの様子



社会貢献支援員から会議のまとめ

内容
事務局からセーフティネット事業、就労支援や衣類バンク事業の説明をし、推進協事業の理解促進を図りました。 また、各ブロックの社会貢献支援員から事例報告をいただき、グループワークでは、事例を聞いての感想や、日々支援をするなかで、困難であった事例や現に困っていること等、意見交換を行いました。
参加者の声
【実践報告・事例報告を聞いて】 ・事例や実績をもとに説明していただいたので、理解が深まった。 ・<u>困難ケースを皆で共有することには沢山の意味があり、事例検討は続いて欲しいと思う。</u> ・それぞれの支援者が相談者によりそい努力されている事がわかった。 ・上手いかなかった事例を聞けて、とても参考になった。 【グループワークに参加して】 ・活発な意見交換が出来て参考になった。 ・他施設の実情、ケースの進め方など、<u>一人で支援している中では、聞けない話だったので、とても参考になった。</u> ・相談者の状況をアセスメントしてセーフティ支援をお願いする側と、実際に支援をする施設さん側で<u>認識が違うことや、共通の考え方があって非常に参考になった。</u>